

## シャープ(株)

製品種類: 冷蔵庫

機種名: SJ-MF55P

販売年度: 2025年



### 評価項目(アセスメント評価項目)

番号	取組項目	説明
1	減量化・減容化	
2	再生資源・再生部品の使用	✓
3	包装	
4	製造段階における環境負荷低減	
5	輸送の容易化	
6	使用段階における省エネ・省資源等	✓
7	長期使用の促進	✓
8	収集・運搬の容易化	
9	再資源化等の可能性の向上	
10	手解体・分別処理の容易化	
11	破碎・選別処理の容易化	
12	環境保全性	✓
13	安全性	
14	情報の提供	✓
15	LCA (ライフサイクルアセスメント)	

## 製品アセスメントの概要

プラズマクラスター冷蔵庫 6ドア 545L。

全機種で奥行63cmの薄型設計を採用した「Fit63シリーズ」を500L超モデルにも拡大。AIが生活パターンを学習して最大約35%節電する「つないでもっと節電」機能や、太陽光発電と連携し省エネ性能を強化するとともに、再生プラスチック使用量を増加させた。

### 改善の具体的内容

[ ] 中の数字は関連する評価項目の番号です。

#### 1. 使用段階における省エネ・省資源等 [6]

##### 【新規】

- 無線LAN接続による「つないでもっと節電」が進化し、クラウド上のAIが生活パターンを学習することで最大約35%※の節電を実現（従来機種SJ-MF55Mは最大約30%）。
- 太陽光発電システムと連携。他社製の太陽光発電システムでも余剰電力を有効活用できる「おひさま除霜」を新たに採用。
- 「オートクローズ」機構の進化。オートクローズが作動する冷蔵室ドアと本体の角度を従来機種SJ-MF55Mの20°から約30°以内に拡大し、ドアの閉め忘れを防止して省エネにつなげる。

※つないでもっと節電ON(自動製氷一時停止モード時)と通常運転(自動製氷運転時)との比較。電力の消費を抑えた運転をするために、食品保存に影響を及ぼさない範囲で、庫内温度を約2~3°C高めに設定します。設定温度「中」、新鮮冷凍「切」、周囲温度35°C、ドア開閉なしでの1日当たりの消費電力量から算出。SJ-MF55P：通常運転(自動製氷運転時) 1.523kWh→つないでもっと節電ON(自動製氷一時停止モード時) 0.983kWh。JIS C 9801-3：2015測定基準とは異なります。使用環境(温度調節・周囲温度・ドア開閉頻度・食品の量など)により節電効果は異なります。無線LANへの接続が必要です。

#### 2. 長期使用の促進 [7]

- 庫内を清潔に保つ「プラズマクラスター」を搭載
- 野菜室に「抗菌お手入れトレー」を搭載

#### 3. 環境保全性 [12]

- ノンフロン冷媒 (R600a) を採用
- ノンフロン断熱発砲ガス (シクロペンタン) を採用
- J-Mossに対応

#### 4. 情報の提供 [14]

- 梱包ケースと取扱い説明書にJ-Mossグリーンマークを表示
- AIoT機能を活用し、使い忘れをお知らせしてほしい食材と日付をスマートフォンで登録しておけば、登録した日に冷蔵庫が音声で通知してくれる「使い切りメモ」を搭載

#### 5. 再生資源・再生部品の使用 [2]

##### 【新規】

- 使用済み冷蔵庫から回収した再生プラスチックの使用量を、従来機種SJ-MF55Mに対し最大約2.8倍※に増加。

※再生プラスチック材使用量:2024年度機種SJ-MF55M:約  
1,142g、新製品SJ-MF55P:3,180g。原料調達状況によって使  
用量が変わることがあります。

## 構造等の図



オートクローズドア

## 使いきりメモ

食材の使い忘れがないか  
リマインド



使い切りメモ